

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
2027 年度共同利用・共同研究課題（短期滞在型）公募要項

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（共同利用・共同研究拠点「アジア・アフリカの言語文化に関する国際的研究拠点」）は、関連する個人研究者が本研究所に短期滞在して、本研究所教員との間で共同研究を行う短期滞在型の共同利用・共同研究課題（以下、「共同研究課題」という。）を広く募集します。共同研究課題の実施を希望される方は、研究代表者として、短期滞在型共同研究申請書等の必要書類を作成し、応募してください。

1. 共同研究課題の要件

1) アジア・アフリカ地域と関連する内容であること。

2) 言語学，文化人類学，歴史学，地域研究の分野。

以下は、本研究所において、現在取り組んでいる研究テーマです。

これらを参考に 1) または 2) に関連する研究課題で応募すること。

- ・ [トランスカルチャー状況下における分極と共生の解明](#)
- ・ [アジア・アフリカの言語動態の記述と記録](#)
- ・ [社会性の人類学的探究](#)
- ・ [「記憶」のフィールド・アーカイビング](#)
- ・ フィールドサイエンスに関連した理論構築

2. 応募資格

大学院生，大学・研究機関の教員・研究者またはこれらと同等の研究能力を有する者。現在所属を有さない者及び研究職としての身分を有さない者も可とする。なお，所属機関を有する者が共同研究課題に応募する場合は，申請前に所属機関からあらかじめ内諾を取っておくこと。日本学術振興会事業の身分を持つ者についても同様に，所属（受入）機関に確認を取った上で申請すること。大学院生については，本研究所専任教員の助言を受けて，指導教員の内諾を得ておくこと。また，本研究所が募集する，あるいは現在継続している東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同利用・共同研究課題（「KKLO 実施分」「若手向け挑戦枠」を含む）における共同研究員（代表者，副代表者を含む）であっても「短期滞在型」に応募することができる。

3. 募集件数

最大 5 件

4. 研究期間・場所

2027 年 4 月 1 日(木)から 2028 年 3 月 31 日 (金) までの間、原則として 1 週間以上 3 ヶ月以内で本研究所が定める期間、本研究所において研究に従事する。

5. 応募書類

- ① 履歴書(用紙は市販のものに準拠し、写真を貼付すること。)
- ② 所属機関長の承諾書(定職についている方のみ。)
- ③ 2027 年度短期滞在型共同研究申請書(指定様式にて作成。以下の項目を記入すること)

(1)共同研究課題名

(2)共同研究を希望する本研究所の教員名

本研究所教員の専門分野は別紙のとおり。詳しくは研究所ホームページを参照。

https://www.aa.tufs.ac.jp/staff_status/research_staff/

(3)研究計画

研究課題のほか、共同研究の概要、研究の背景、共同研究者である所員の役割、短期滞在中の日程、期待される研究成果について記入すること。

(4)研究歴・研究業績

応募共同研究課題に関連のある研究歴と主要業績を列挙すること。

(5)研究期間

共同研究を希望する期間を記入すること。

6. エントリー・応募書類提出方法

申請は全て電子的に行う。

- 1) 応募者は申請に先立ち、[本研究所ウェブサイト](#)のエントリー受付ボタンよりエントリー登録を行う。

≪本研究所ウェブサイト：https://www.aa.tufs.ac.jp/projects/joint_task/application/≫

- 2) エントリーが完了すると、応募書類の提出先 URL が記された自動返信メールが届くので、以下提出期限までに指定された URL にアップロードすること。

なお、提出時はファイル名に【氏名_】または【Name_】を冠して提出すること。

(例：【外語太郎_短期滞在型共同研究員申込書 (2027 年度)】.pdf)

書類提出期限：2026 年 11 月 27 日 (金)

7. 採 否

学外委員が半数以上を占める本研究所共同研究専門委員会が書面審査を行い、採否は2027年2月中に所長から応募者に通知する。

8. 研究上の便宜

研究代表者は短期共同研究員として、本研究所が所蔵する資料や機器を利用することができる。

9. 旅 費

10万円を上限として、本研究所の定めるところにより支給する。なお、上限額の範囲内であれば、短期滞在を複数回行って構わない。

ただし、片道50キロメートル未満の場合は旅費を支給しない。

10. 研究報告

研究代表者は共同研究の終了後1ヶ月以内に、研究成果報告書（1200字程度）を所長宛てに提出しなければならない。なお、報告書は本研究所のウェブサイトで公開される。

11. 問い合わせ先

東京外国語大学 研究協力課共同研究拠点係

Tel: 042-330-5603

E-mail: ilcaajr@tufs.ac.jp

＊なお、審査を経て採択された共同研究課題の実施については、2027年度予算の成立を前提とする。

別紙

教 授

荒川慎太郎：西夏語学，西夏語文献学

石川博樹：アフリカの歴史

太田信宏：インドの歴史

呉人徳司：言語学，チュクチ語

近藤信彰：イラン近代史

澤田英夫：ビルマ系少数言語の記述，東南
アジア大陸部インド系文字の体系

椎野若菜：社会人類学，東アフリカ民族誌

塩原朝子：言語学，インドネシア諸言語の記
述研究

品川大輔：バントゥ諸語，記述言語学

高松洋一：オスマン朝史，古文書学，アーカ
イブズ学

外川昌彦：南アジアの人類学，インド・バン
グラデシュ研究

床呂郁哉：東南アジア島嶼部の人類学

中山俊秀：ワカシュ諸言語（北米北西海岸），
言語類型論，言語人類学

野田 仁：中央アジア史，露清関係史

星 泉：チベット文化圏の言語学

山越康裕：モンゴル諸語

渡辺 己：セイリッシュ語

准 教 授

安達真弓：ベトナム語，語用論，社会言語学

小倉智史：南アジア地域研究・歴史学

河合 文：人類学，東南アジア，オラン・アスリ

倉部慶太：ジンポー語，チベット・ビルマ諸語，
ミャンマーの言語

児倉徳和：記述言語学，シベ語（満州語口語）

後藤絵美：現代イスラーム研究，ジェンダー

吉田ゆか子：文化人類学，インドネシアの芸能・
宗教・仮面文化の研究

助 教

植田尚樹：言語学，音声学・音韻論，モンゴ
ル語

緒方しらべ：芸術の文化人類学，ナイジェリア
地域研究

カリリ モスタファ：エスニシティとナショナリズム，
政治人類学

神田 惟：イスラーム美術史，ペルシア語文化
圏文化史

黒沼太一：考古学，南東アラビアの歴史的景観
に関する研究

高橋洋成：ヘブライ語，セム諸語，アフロ・ア
ジア諸語の言語学

早川英明：中東地域研究，思想研究

村津 蘭：文化人類学，映像・マルチモーダル
人類学，西アフリカの宗教